

まちの話題



教室の後、舟場までウォーキングも

さつそうと歩ける女性に

女性のためのウォーキング教室

正しく美しい歩き方を身に付け、健康な毎日を送ってもらおうと、6月19日、女性のためのウォーキング教室が山村開発センターで開かれ、町内の約20人の女性が参加しました。講師の健康運動指導士、藤本晶子さんは、「美しい歩き方のこつは、背筋を伸ばして腕を振り、腰に力を入れて歩幅を大きくとること」などとアドバイス。靴の選び方や準備運動など、日ごろのウォーキングに必要な事柄なども指導し、参加者は実際に歩いてみながら学んでいました。

海外体験を楽しく語る

国際交流協会「世界を語る」

いろいろな国の話を聞いて異文化理解を深めようと、日野国際交流協会（小谷博徳会長）主催のイベント「世界を語る」が、6月26日、山村開発センターで開かれ、町内外から約30人が参加しました。

今回は、青年海外協力隊員としてアフリカなどに派遣されていた上原菜生さん、田中正之さん、谷田孝之さんを招き、それぞれの派遣先の生活や文化、活動内容などについて映像を交えながら紹介していました。

3人はいずれも日野郡出身または在住者。身近な人たちの海外体験ということで、参加者らは、お茶や軽食を取りながら質問したり、気軽に交流を深めていました。



ニジェールの太鼓の即興演奏も飛び出す

ホール開館15周年を記念

日野川音楽祭

日野川沿いで活動している音楽グループが一堂に集い演奏を披露する、第14回日野川音楽祭（同実行委員会主催）が、6月27日、町文化センターで開かれました。

今回は、町文化センター開館15周年を記念し、米子市出身の歌手、山下怜美さんと、松江市のフォークローレバンド、カラコロ・アンデスもゲスト出演。計11組が個性あふれる演奏を聞かせました。



山下怜美さんは全国で活躍するプロのポップス歌手

この音楽祭では、ジャズ、フォーク、コーラス、琴、沖縄音楽、大正琴など、多彩なジャンルの音楽が聞けるのが特色。集まった観客は、盛んに拍手を送ったり手拍子を取るなど、リラックスしながら演奏に聞き入っていました。

楽しく健康な毎日を

ふれあい健康教室

住民の健康意識の向上などを目的に、町職員が各地域に出かけて行うふれあい健康教室が、7月1日に三土作業所で開かれ、地元住民11人が参加しました。

これは、町が今年度から新しく取り組む事業で、三土が最初の開催となります。

町からは、保健師や管理栄養士ら健康福祉課職員が出席し、血圧測定や栄養指導のほか、健康についての相談などを行いました。

ふれあい健康教室

開催自治会を募集しています

職員が皆さんの地域に出かけ、健康相談や栄養指導などを行います。お申込み・お問合せは、健康福祉センター（電話72・1852）までどうぞ。



一人一人の食生活などについてもアドバイス

明るいまちづくり訴え

社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間。これに合わせ、初日の7月1日、町内各地で関係者らによる街頭啓発活動が行われました。

JR根雨駅では、朝の通勤・通学の時間帯に合わせて関係者らが集まり、降り立った高校生らに呼びかけながら啓発用品を配布したほか、町内の事業所なども訪問し、非行のない明るいまちづくりを訴えかけました。

この運動は、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、明るい社会を作るための全国的な運動です。



多くの皆さんがこの運動に参加

勇気を出して一歩前へ

男女共同参画講演会

男女が共に支え合う社会をつくろうと、町男女共同参画推進会議（田口郁江会長）主催の講演会が、7月3日に山村開発センターで開かれ、約30人の町民が参加しました。

今回は、県男女共同参画センター（よりん彩）企画員の石井宏美さんを講師に、「女性の元気（あなた）が町のチカラ」と題した講演が行われました。

石井さんは、4人の息子を育てている自分の経験を交えながら、県内の共同参画が進んでいる状況などを説明し、「元気なまちづくりには女性の力が必要。積極的に地域活動にかかわってください」と話しました。

参加者は、石井さんの明るさに元気づけられ、熱心に聞いていました。



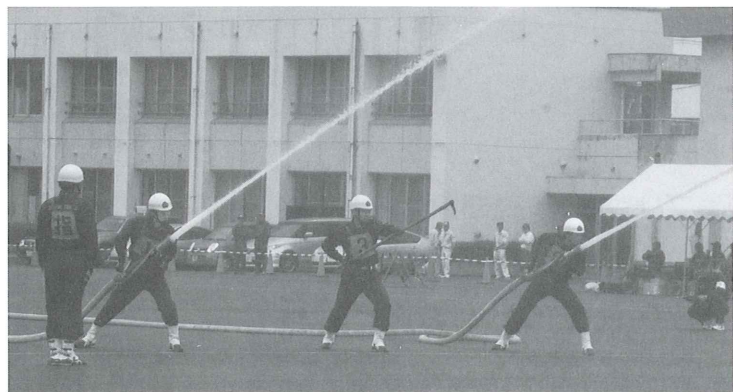
「いろいろな人に出会うのが好き」と話す石井さん

団員の資質向上へ

西部消防ポンプ操法大会

県西部の消防団員による消防ポンプ操作の競技会、第52回県西部消防ポンプ操法大会が、7月4日、県消防学校（米子市）で開かれ、町消防団第3分団がポンプ車操作の部に出場しました。

競技は、消防ポンプを使って火点に見立てた標識に向かって実際に放水し、一連の動作の正確さや速さなどを競うもの。出場した選手は、日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、審査の結果、第3分団は第7位となりました。



火点へ向かって放水、現場さながらの操法

2010 国勢調査 10月1日、国勢調査を行います

- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。
- 平成22年国勢調査は、日本が本格的な人口減少社会となって行う最初の国勢調査で、国の未来を考えるために欠かせない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査e-ガイド」をご覧ください
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>